

MACHI machi まちづくり

音楽がつくる心の余白

私はマリンバ奏者で、国分寺を拠点に0歳から楽しめる親子向けコンサートを企画・開催しています。実は、子どもが生まれるまでは、自分の住む街がどんな街なのかをあまり意識したことがありませんでした。ところが娘が生まれてからは、遊び場を探したり、子育て支援を利用したり、地域のお祭りに参加したり。「街」という存在がぐっと身近になりました。

そんな中、音楽に携わる者として娘に豊かな音楽体験をさせたいと思う一方で、親子が気軽に音楽に触れられる場が身近には少ないと感じました。そこで、わが子と地域の子どもたちにも音楽を届けたいと思い、国分寺を拠点に親子向けコンサートを始めました。

続けるうちに、「久しぶりに生の音楽を聴いて癒やされました」という保護者の方の声をいただくようになりました。最初は子どものために始めた活動でしたが、音楽は保護者の心にも余白をつくるのだと気づかされました。

音楽が心に少しでも余白をつくる。その余白が、自分や家族、そして誰かに優しくできる力につながると私は信じています。そんな余白のある時間を届けながら、あたたかな街を願って、これからも国分寺で活動が続けていきたいと思います。

(マリンバ奏者 M.K)



国分寺をもっと暮らしやすい
まちにするために

あなたの声を聞かせてください

「ひとこと提案」とは

あなたのひと言から、政策が生まれます。
みなさんの「ひとこと」は、整理して市政、都政の質問や
予算要望へ反映します。



★今までにひとこと提案から実現したこと・・・

- *インクルーシア公園を提案、2025年黒鐘公園がリニューアル
- *グリーン購入ガイドラインに純石けん使用を明示
- *「香害」から健康を守るため市民へ啓発、小学校給食着持参が可能に
- *ヤングケアラーの理解と周知・支援につなげるための取り組み
- *認知症の方を地域でサポートするための訓練
- *不登校児童生徒対象の教育センター適応指導教室の名称が「トライルーム」に変更
- *避難所運営マニュアルに女性や高齢者障害がい者の視点を提案
- *2026年ブックスタート事業がスタート

国分寺ネット活動日誌

- 4月10日(金)起立性調節障害当事者の方と懇談
- 4月14日(火)市民自治研修「都市計画のしくみ」参加
- 4月15日(水)「暮らしのお話会」開催
- 4月17日(金)「土壌学者のお話会」開催
- 4月18日(土)発達障害学習会参加
- 4月19日(日)「国分寺市100人カイギ」登壇／市民連合@国分寺アピール活動参加
- 4月22日(水)～24日(金)市町村議会議員研修「防災と議員の役割」参加
- 4月23日(木)「マリンバ奏者のお話会」開催
- 4月25日(土)バイバイ原発国分寺の会アピール活動参加／国分寺市憲法記念行事「女性の生き方とジェンダー平等」参加
- 4月28日(火)豊洲市場のセリと食品検査施設見学
- 4月29日(水)市民懇談「マサーヨがきく」開催／「こどもお話会」開催
- 5月3日(日)立川憲法集会参加
- 5月8日(金)朝遊説(国立駅北口)
- 5月9日(土)～10日(日)こくフェスボランティア参加
- 5月11日(月)小さなお話会「不登校の子どもへの医療的支援」開催
- 5月13日(水)朝遊説(国分寺駅南口)
- 5月15日(金)介護保険に関するお話会開催
- 5月19日(火)市民連合@国分寺アピール活動参加
- 5月21日(木)「ユースヘルスケア白書発表会」参加
- 5月23日(土)「ウナイ 透明な闇～PFAS汚染に立ち向かう」上映会参加
- 5月24日(日)国分寺市水防訓練参加／全国自治サミット参加
- 5月24日(日)バイバイ原発国分寺の会アピール活動参加
- 5月26日(火)野川の湧水流量調査参加
- 5月27日(水)朝遊説(西国分寺北口)
- 5月29日(金)国分寺市手をつなぐ親の会総会出席
- 6月7日(土)「身近な水環境の全国一斉調査」参加／国分寺市体験型防災訓練参加
- 6月11日(木)子どもの人権講座「SNSについて」参加
- 6月13日(土)講演会「不安の時代に教育ができること」参加
- 6月19日(金)市民連合@国分寺アピール活動参加／国分寺市多様な学び支援フォーラム参加
- 6月20日(土)講演会「高市政権による改憲の危険な狙い」参加／「子どもアドボカシー講座」受講
- 6月21日(日)冒険遊び場の会総会参加／「地域と地域をつなごう～ローカリゼーションのすすめ」参加
- 6月25日(木)私立大日向小・中学校視察
- 6月28日(日)バイバイ原発国分寺の会アピール活動参加／「きょうだい児とお金のお話」講演会参加／プレイステーションタ暮れカフェ説明会参加

生活者ネット
こくぶんじ No.190
2026年7月

発行／国分寺・生活者ネットワーク 発行責任者／田中由紀
連絡先／〒185-0024 国分寺市泉町3-33-16 西国分寺ハイツ103
TEL:042-328-1864 FAX:042-328-1878
http://kokubunji.seikatsusha.me/ E-mail:kokubunji@seikatsusha.net



国分寺市議会議員
たかせ
高瀬かおる



国分寺市議会議員
こさか
小坂まさ代



国分寺市議会議員
まつおか
松岡まり

物価高騰・不安定な世界情勢の脅威
自治体として何ができるか

エネルギーや原材料費の高騰に加え、緊迫した世界情勢に伴うナフサ不足などによる資材の供給不足は、市内の小規模事業者に重い負担を与えています。この影響は、消費者・生活者の暮らしにも直結しています。国の交付金や都の補助金を活用して、最も身近な自治体である国分寺市が、現場の困りごとを受け止めて支援策を実施することは、地方自治の原点としても重要です。今議会では、これまで生活者ネットワークが提案してきた支援策の実施が決まりました。

小規模事業所などへ
補助金が交付されます

市内の建設事業者を対象に、電気代高騰支援として1事業所当たり10万円、小規模の製造業・運輸業を営む事業者に対しては、電気代・ガソリン代の負担軽減として5万円が支給されます。また、障害福祉サービス事業所等へは、熱中症予防の普及啓発グッズや設備導入に対し補助されます。

不登校の子どもたちへ
学校給食費相当分が
補助されます

給食停止届を出している家庭を対象に、4月に遡って学期ごとに支給されます。届けを出していても「今日は学校へ行こう」と急に登校した際は、給食を食べることができません。一方で、学期ごとの申請手続きなので、提出をためらう家庭が出ないかという心配もあります。実態に寄り添った制度になるよう、今後も見守ることが必要です。

インボイス制度の「2割特例」及び「8割控除」の継続
を求める意見書を提出

インボイス制度導入後、免税事業者や小規模事業者は新たな負担に苦しんでいます。負担軽減措置である「2割特例」や「8割控除」は2026年9月末に終了・縮小が予定されており、小規模事業の皆さんにとって、更なる不安となっています。事業継続と地域経済維持・発展のため、国へ特例の継続を求める意見書を提出しました。加えて、このような社会情勢のもと、改めてインボイス制度そのものの廃止について考えるべきではないでしょうか。(松岡まり)

■市のホームページより

不登校等児童・生徒への給食費相当額の補助

【対象者】不登校や病気等による長期欠席で、学校給食の提供を受けられない児童・生徒の保護者
【支給開始】令和8年度1学期分から
【対象拡大に係る補正予算計上額】

○小学校の給食に要する経費：773万9千円(117人分)
内訳：国・都補助760万8千円、一般財源13万1千円

○中学校の給食に要する経費：1,277万3千円(145人分)
内訳：国・都補助1,117万7千円、一般財源159万6千円

国分寺市議会が国に提出した意見書より

「……国においては、物価高騰や人手不足など厳しい経営環境に置かれている小規模課税事業者及び免税事業者の事業継続と地域経済の維持・発展を図るため、「2割特例」及び「8割控除」を令和8年9月末をもって終了又は縮小することなく、継続するよう強く求めるものである。」

